

科目名称	地域の健康支援見てこんけん実習 I (健康な人々への支援)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 前期	1	45
担当教員	森 景子	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

松山市周辺の診療所(以下クリニック)と松山市教育委員会地域学習振興課(以下公民館)で地域に暮らす人々の健康への意識とその支援について学ぶ。

【2】 学習目標

- 地域で生活する人々を知ることができる。
(1) 地域で生活する人々の年齢層や家族形態、生活状況などを知ることができる。
- 地域で生活する人々の健康の維持・増進の取り組みを知ることができる。
(1) 地域で生活する人々の健康ニーズについて知ることができる。
(2) 地域で生活する人々の健康の維持・増進方法について知ることができる。
- 地域で生活する人々の健康を支援する資源、方法を知ることができる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
2日間	【クリニック実習】 ・看護師のシャドウイングを行い、どのように医師、看護師等の医療従事者が働いているのかを見学する。 ・地域の人々に対する治療・看護の実際や患者・家族とのコミュニケーション方法を見学する。 ・患者の同意が得られれば、インタビューを通して健康の維持・増進方法を知る。 ・実習期間中、その実習時間の最後に 15 分間の振り返りを行い、実習したことからの学びの共有や問題解決の場とする。	臨地実習
2日間	【公民館実習】 ・学生は参加者と共に活動に参加し、松山市ではどのような健康推進や健康支援事業を行っているかを見学する。 ・参加者の同意が得られれば、利用者にインタビューを行い、健康の維持・増進方法を知る。 ・実習期間中、実習時間の最後に 30 分間の振り返りを行い、実習したことからの学びの共有や問題解決の場とする。	
1日間	【学内日】 *クリニックの休診日に合わせて学内日を設定する ・臨地で学習した内容を整理し、グループ、クラスで学びを共有する。	演習

【5】 評価方法

実習終了後に評価の視点を参考に、学生、教員、臨地実習指導者で評価を行う。

【6】 教科書

実習オリエンテーションで配布した資料および実習要綱

【7】 参考書

適宜紹介します

【8】 受講生へのメッセージ

入学してすぐの臨地実習です。これから看護の学習をしていく皆さんにとって、学びの多い実習になることを期待しています。